大阪府

小学生の保護者のみなさま

冬休みは 子どもと一緒に 本を読もう！

☆もうすぐ冬休み☆

今回は、寒い冬の季節に合った本や、お正月など、この時期の行事に関する本を紹介します。保護者の方にとっては忙しい時期だと思いますが、そんな時だからこそ、読書がおすすめです。お子さんや家族と一緒にほっこり読書をして、感想を共有してみませんか？

絵本

◇『十二支のおはなし』

内田麟太郎/文
山本孝/絵
岩崎書店　2002.11

お正月に神様のところへあいさつに行くことになった動物たち。最初に着いたのは、ちゃっかりもののねずみでした。

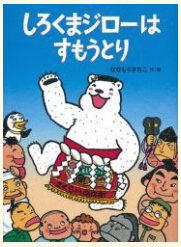
◇『エイモスさんがかぜをひくと』

フィリップ・C・ステッド/文
エリン・E・ステッド/絵
青山南/訳
光村教育図書　2010.7

動物園で働くエイモスさんが風邪をひいてお休みに。心配で仕方ない動物たちは、彼のお見舞いに行きます。

低・中学年向き

◇『しろくまジローはすもうとり』



ななもりさちこ/作・絵
福音館書店　2018.9

人間の力士に変身し、すもう部屋に入門したしろくまのジロー。楽しくすもうをとり、勝ち上がります。

◇『ぼくはめいたんてい ゆきの中のふしぎなできごと』

マージョリー・W・シャーマット/文
マーク・シーモント/絵
光吉夏弥/訳
大日本図書　2014.9

誕生日プレゼントが雪道で消えた！どんなプレゼントかわからないまま、ネートは追跡を始めます。

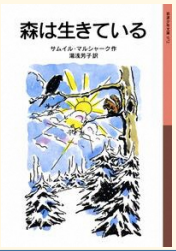
高学年向き

◇『ピアノをきかせて』

小俣麦穂/著
講談社　2018.1

「ピアノの楽しさを忘れかけている姉の心に、この音楽劇を届けたい」音楽の素晴らしさや、家族の絆が伝わる物語。

◇『森は生きている』



サムイル・マルシャーク/作、湯浅芳子/訳
岩波書店　2000.11

継母の言いつけで吹雪の森に入った少女は、12 の月の精に出会います。スラブ民話を元につくられたお話。

知識の本

自然◇『雪の結晶ノート』
マーク・カッシーノ&ジョン・ネルソン/作、千葉茂樹/訳　あすなろ書房　2009.11（低学年～）

食物◇『季節をたべる冬の保存食・行事食』
濱田美里/著、藤田美菜子/絵　アリス館　2014.12（高学年～）

行事◇『お正月がやってくる』
秋山とも子/作・絵、ポプラ社　2018.12（低学年～）

言葉◇『春夏秋冬・12 か月手紙を楽しもう！』
スギヤマカナヨ/著　偕成社　2018.2（中学年～）

◎家読（うちどく）やってみませんか？◎

家読とは、家族で読書する習慣を作り、本の感想を共有し合う活動です。

読書を通してコミュニケーションの時間を増やし、家族の絆を育む機会になります。

次のようなポイントを参考に、気軽に初めてみてはいかがでしょうか。

① 家族で読書する日や時間を作ってみましょう。

② 図書館や書店へ出かけて、読みたい本を探してみましょう。

③ 本を読んで、感想を話し合ってみましょう。

④ 家読用ノートを作って、読書記録を残してみましょう。

たくさんの子どもの本があって、どんな本を読んだらいいかわからない時は、大阪府立中央図書館が作成したブックリスト**『ほんだな』**を参考にしてみてはいかがでしょうか。

『ほんだな』は**大阪府立中央図書館ホームページ「こどものページ」**で見ることができます。

『ほんだな』のURL・QRコード

http://www.library.pref.osaka.jp/site/kodomo/hondana-index.html

気になる本、読みたい本が見つかったら、近くの図書館や書店などへ出かけてみませんか？

発行	大阪府教育委員会（2019年11月発行）
お問合せ先	市町村教育室　地域教育振興課
	電話 06-6944-9372（直通） FAX 06-6944-6902
ホームページ	http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoiku/
協力	大阪府立中央図書館